

名山正男夫妻 吉川輝輔、出資ニヨリ社長ニ清水毅が當リ
事業ヲ經營シ来タルカ社長清水 毅ハ株式会社清水組
ノ一門ニシテ清水組ハ荒川區日暮里六ニ營造社ト稱スル建築
工場ヲ經營シ牛タリ後、テ本工場ト取引關係アリシガ昭和十
年頃ヨリ取引ニ際シ時價ヨリ若干安價ニテ取引ク為シ来タリ
タリ其ノ間出資社ノ一人タル重役石山正男ハ其ノ一部分ニ付
テハ其ノ都度派款シタルコトアリタルガ最近其ノ累計多額ト
ナリタル處、石山ハ社長ニ對シ其ノ不信ク匡シ遂ニ告訢シ
決ニ及ビ兩者ノ軋軋減烈トナルニ至レリ而シテ従業員ハ創立
當時ヨリ石山ヲ信望シオタル為メ、本問題ニ關シテハ石山ニ
同情シ従業員一同ニテ石山ノ窮状ヲ助ケ清水社長ノ反省ヲ促
ス、レトナシ 五月三日、勤後後盤部職工河原木軍治ハ各部
職工小野寺定吉外数名ト協議、結果罷業ヲ為ス、コトニ決定、更
ニ厚生部外各部ニ其ノ実情ヲ新、タル所何シ之ニ同意シ合

六 経過

是レ同日午前八時三十分ヨリ全員罷業スルニ至レルモノナリ

ハ従業員側ニ在リテハ罷業ニ入ルト共ニ前記河原木軍治ノ中
心ニ協議ヲ為シ別紙ハ趣意書ヲ作成、同日午後ニ時工場事務
所ニ笹原工場長ヲ訪問、右趣意書ヲ提出、社長、取次方ヲ依頼
セリ

又翌四日午前中前記河原木軍治以下十名ハ社長ニ電話ニ
テ會見ヲ申込、同日午後四時京橋區室町一ノ一清水組本社
ニ社長ヲ訪問、會見シ
社長ニ工場長ニ提出セル趣意書ヲ詳述シ 従業員一同ハ不安
ヲ感事ニ、出来ヌ收斂ナル旨ヲ述ハ社長、善處方ヲ促ス所ト
リ之レニ對シ社長ヨリ
謝辞トモ、緩解カアル此ノ際、務メス作業ニ従事シテ貰ヒタイ
ト答ヘ、會見ヲ終リ午後五時引揚ケタリ